

## 設置工事説明書

### 温水洗浄便座 品番 DL-GZシリーズ

●イラストは異なる場合があります。



安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。  
工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。

## 1 安全上のご注意

お使いになる人他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告 注意

**接地工事を行う**  
アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**  
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。  
**設置工事は、設置工事説明書に従って確実にを行う**  
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

**設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する**  
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

**電気工事は、内線規程に従って施工する**  
内線規程に従わないと、火災、感電の原因となります。

**定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う**  
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。

**コンセントのアース端子にアース線を取り付ける**  
アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

**水場使用禁止**  
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない  
感電や火災の原因となります。

**電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない**  
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

**移動や設置時、本体を持つ**  
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

**水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行わない**  
と、水漏れの原因となります。

**移動や設置時、本体を持つ**  
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

**電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない**  
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

**水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行わない**  
と、水漏れの原因となります。

**移動や設置時、本体を持つ**  
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

## 3 各部の名前と同梱部品の確認

**分岐水栓セット**

●パッキン3個  
●スリップワッシャー1個

**④ キャップセット**

●キャップA  
●キャップB

●パッキン(大)  
●パッキン(小)

**⑥ クリップ・クリップキャップ**

**⑦ 結束バンド**

**⑧ 説明書セット**  
(取扱説明書・設置工事説明書)

**⑨ フレキシブルパイプ**  
(長さ:350 mm)

**パッキン厚さ寸法**  
4 mm×1 2.5 mm×2

**ロータンク**

**便ふた**

**便座あためランプ**

**着座センサー**

**本体**

**部屋暖房 (DL-GZ70のみ)**

**暖房便座**

**電源プラグ**

**アース線 (本体背面) 受信部**

**漏水テストスイッチ**

**⑤ 給水ホース**

**① 取付ボルトセット**

**⑩ アース線**

**⑫ クッション (DL-GZ70/50/40のみ)**

**リモコンセット**

**⑫**

**⑬**

**⑭**

**⑮**

**⑯**

**⑰**

**⑱**

**⑲**

**⑳**

**㉑**

**㉒**

**㉓**

**㉔**

**乾電池セット (リモコン用)**

**⑩**

単3形アルカリ乾電池 2個

**乾電池セット (人体センサー用)**

**②**

単4形アルカリ乾電池 2個

## 2 設置工事の流れ

- 各部の名前と同梱部品の確認
- 設置の前に
- 止水栓を閉める
  - 止水栓がある場合
  - 止水栓がない場合
- 分岐水栓を取り付ける
  - 既設の分岐水栓が下図の場合 ④
  - 既設の分岐水栓が下図の場合 ⑤
  - 新規設置の場合
- 本体を取り付ける
  - 給水ホースを取り付ける (DL-GZ70/50/40のみ)
  - クッションを取り付ける
  - 止水栓を開ける
  - アース線の接続
  - リモコン、人体センサーを取り付ける
  - 試運転

番号	部品名	部品品番	数量
①	取付ボルトセット	DL552A-X1JSO	1
②	分岐水栓		1
③	パッキンセット (薄い黒2.5 mm厚さ×2 厚い黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー(白)×1)	DL531A-GW200	1
④	キャップ (キャップA×1 キャップB×1) キャップカバー	DL542A-Z6JSO	1
⑤	給水ホース	DL432A-Z6JS1	1
⑥	クリップ・クリップキャップ	DL792A-Z1JSO	各2
⑦	結束バンド	TSL-150-I	2
⑧	説明書セット	-	1
⑨	フレキシブルパイプ	DL591A-X7JBO	1
⑩	スプナ	DL972A-X7JB1	1
⑪	アース線(本体接続済み)	DL193A-X3KB1	1
⑫	リモコン	DL-GZ20用 DL137R-AACSO DL-GZ30E4用 DL137R-AFCSO DL-GZ40用 DL137R-ABCSD DL137R-ACCSD DL-GZ70用 DL137R-ADCSD	1
⑬	リモコンホルダー		1
⑭	両面テープ		1
⑮	取付ねじセット	DL800A-Z1JSO	各2
⑯	乾電池セット(リモコン用)	(単3形アルカリ乾電池)	-
⑰	人体センサー		1
⑱	センサーホルダー		1
⑲	両面テープ	DL137V-AACSO	2
⑳	取付ねじセット		各2
㉑	乾電池セット(人体センサー用)	(単4形アルカリ乾電池)	-
㉒	クッション	ADL786AM7JBO	1

**ご注意**  
●同梱のパッキンをご使用ください。(他のパッキンをご使用されると接続部が破損するおそれがあります)

## 4 設置の前に

**取付前お願い**  
本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない  
故障の原因となります。

●使用水圧範囲は49～735 kPa、(0.5～7.5 kgf/cm<sup>2</sup>)です。ただし、アクアコート使用水圧範囲は68～735 kPa (0.7～7.5 kgf/cm<sup>2</sup>)です。(DL-GZ70/50/40のみ)

●本体内の残水が凍結している場合は、暖かい部屋に放置し、とがしてから設置する。

●必ず同梱の分岐水栓をご使用ください。

この商品は水道水を使って検査をしています。  
商品を取り出す際に多少の水漏れが出ることがありますが、異常ではありません。

**トイレスペースの確認 (DL-GZ70のみ)** (単位: mm)

部屋暖房機能付きの場合は、トイレ室内に十分なスペースがあること、障害物がないことを確認してください。壁面などが変色することがあります。

## 5 止水栓を閉める

止水栓がない場合  
→裏面 ⑤を参照してください。

- マイナス溝タイプ
- ハンドルタイプ
- 内ねじ止水栓タイプ

## 6 分岐水栓を取り付ける (取り替えの場合)

分岐水栓が下図のタイプの場合 ④

分岐水栓のタイプが違う場合、新規設置の場合  
→裏面 ⑤を参照してください。

- 給水管を外してから、新しい分岐水栓に交換する
- 給水管の取り付け

●同梱のフレキシブルパイプを使用する場合は、接続する。

●既設の給水管を使用する場合は、分岐水栓側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあらかじめ長さに給水管を切断。(フリア加工している場合は、切断長さに注意)

●分岐水栓への差込代は約10 mmを必ず確保する。

●ロータンクに水が入らない、止まらないの防止をする

●ボールタップが回転しないようにしっかりと持って袋ナットを締めてください。

●ボールタップが傾いて取り付けられると浮子がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

## 7 本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

- 既設便座の取り外し
- 本体固定板の取り外し
- 本体固定板の取り付け
- 本体の取り付け

下からナット締めができない便器の場合

- 既設便座の取り外し
- 本体固定板の取り外し
- 本体固定板の取り付け
- 本体の取り付け

●コードを本体と便器の間に、はさみ込まないようにしてください。

## 8 給水ホースを取り付ける

正しい接続

- 分岐水栓への接続
- 本体への接続

●給水ホースは切断しない

●給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない

●付属の結束バンド以外で結束しない

●本体接続口にリングが噛み込まないように必ずすく差し込む

●本体接続口にリングが噛み込まないように必ずすく差し込む

●コードを本体と便器の間に、はさみ込まないようにしてください。

## 9 クッションを取り付ける

(DL-GZ70/50/40のみ)

便ふたは、トイレに入った時やリモコン操作により開閉します。便器・ロータンクの形状や設置状態などによっては、便ふたがロータンクに強く当たる場合があります。このときは、付属のクッションを右図を参考に貼り付けてください。

●貼る前に、汚れ、水分などをふき取ってから貼り付けてください。

## 10 止水栓を開ける

各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

●水道の元栓を開けた場合は開けてください。

●手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸を開けてください。

●十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

## 11 アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)



★は、同梱部品です。

### 分岐水栓が右図のタイプの場合 ⑧

既設の分岐水栓  
止水栓  
給水パイプ

既設の止水栓を元に戻す場合 → 右の部品が必要です

- 水道の元栓を開める
  - 元栓を開める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
  - 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- 給水パイプを外す
  - 止水栓を閉め、給水パイプを外します。
  - 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。
- 既設の分岐水栓を止水栓から外す
  - 止水栓を閉め、分岐水栓を回して止水栓から外します。
  - 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。
- 止水栓を元にもどす
  - 止水栓のコマ、パッキン、キャップ、栓棒を分解し、止水栓を元にもどします。
  - この部品は、お客さまが保管されているものをお使いください。
- 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す
  - 止水栓を閉め、給水管を外します。
  - 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

一般的なマンションの場合  
水道メーターと一体になった元栓の場合  
埋込み式の元栓の場合

### 新規設置の場合

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

ロータックの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同様の分岐水栓とフレキシブルパイプが接続できない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

〈別売品〉品番：DL531A-X1JSO

分岐水栓 1個 説明書 1枚

- 水道の元栓を開める
- 別売品の分岐水栓を取り付ける
- 本体同様の分岐水栓を取り付ける

止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

同様のスナバまたはマイナスドライバー

給水管  
止水栓  
軸

給水管  
止水栓  
軸

同様のスナバまたはマイナスドライバー

●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

給水管  
止水栓  
軸

給水管  
止水栓  
軸

●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

新しい分岐水栓  
新しいパッキン(薄型2.5mm厚)

キャップ用のパッキン(小)  
キャップA  
キャップカバー  
口径小  
給水パイプ側の口径に合わせ方を換える  
口径大

●既設の分岐水栓の形状は、さまざまなタイプがありますが、給水パイプ側の口径は3種類です。  
●口径に合わせてA、B2種類のキャップ、大小2種類のパッキンから合うものを選んでください。ただし、既設の分岐水栓にパッキンが付いている場合は、同様のパッキンは使用せず、そのままキャップを取り付けてください。  
●キャップは手でしっかりと締め付けてください。

パッキン大、小の使い分け

パッキン(小)  
パッキン(大)  
キャップA  
キャップB(口径中)

●本体同様のフレキシブルパイプは使用しません

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

⑥ 分岐水栓を取り付ける (取り替えの場合) → 表面を参照してください  
⑦ 本体を取り付ける → 表面を参照してください

5 その他 止水栓がない場合

### ⑤ 止水栓を閉める の項目で止水栓がない場合、専門業者に依頼してください

●分岐水栓を取り付ける

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

- 水道の元栓を開める
- 給水管に分岐水栓を取り付ける

品番: ☆AD-T5MF7NX (TOTO製)

約620mm

★パッキン(薄型2.5mm厚)

●取り付け順・方向を間違わない。

フラッシュバルブから給水する場合

- 水道の元栓を開める
- TOTO製の場合
  - 分岐口の有無を確認する。分岐口有り → 分岐口にアダプターを付けて分岐する。分岐口無し → 連結管をアダプターに換えて分岐する。
  - フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
  - フラッシュバルブ用アダプター (別売品) を取り付ける。
  - 分岐水栓の異径アダプター側をふさぐ。
  - アダプターに分岐水栓を接続する。
- INAX製の場合
  - ②部を外す。
  - フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける。65年～78年7月までの一般用 ☆AD-K014GWS (INAX製) 78年8月～90年5月までの一般用 ☆AD-K012GWS (INAX製) 90年6月以降の新型節水用 ☆AD-K011GWS (INAX製)

〈別売品：フラッシュバルブ用アダプター〉  
フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。  
フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合  
図① ☆AD-TH343R  
図② 図③のA寸法が120mmの場合 ☆AD-TH484  
図②のA寸法が120mm以外で、標準形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH502-1R  
図③のA寸法が120mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH347-1R  
図③のA寸法が120mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH484-1

樹脂リング  
ホース接続アダプター (ウィックフラスター用)

●取付後、水道の元栓を開てください。

⑦ 本体を取り付ける → 表面を参照してください 以降の手順に従ってください

## 12 リモコン・人体センサーを取り付ける

### リモコンの取り付け

●本体の受信部側に取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。

●リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。

〈受信確認のしかた〉  
①電源プラグを差し込む  
↓電源ランプが点滅後、点灯する  
②約10分以内にリモコンのいずれかのスイッチを押す  
③本体の電源ランプが1回点滅  
……正常な位置に取り付けられています。  
●電源ランプが1回点滅しない場合は、取り付け位置を変更してから再度、受信確認をしてください。

①リモコンからホルダーを外す  
②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

リモコンと天井の間に糊などの障害物がない位置に取り付けてください。

リモコンの裏面の溝を合わせて上から差し込む

④リモコンが取り外せることを確認する (電池交換が必要なため)

### 人体センサーの取り付け

●人体センサーは熱の変化を検知し、便ふたの開閉 (DL-GZ70/50/40のみ) と便座の瞬間暖房への通電を自動で行います。

●人体センサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、確実に人体を検知する位置に取り付けてください。

●人体センサーと天井の間に糊などの障害物がない位置に取り付けてください。

●トイレのパターン (トイレの扉と便器の位置関係) により、取付位置も異なります。

●トイレのパターンに合った位置に取り付けてください。

人体センサーを取り付ける前に…  
〈人体センサーの取り付け例〉を参考に人体センサーを仮付けし、試運転を行ってから壁への固定を行ってください。

①人体センサーからホルダーを外す  
②ホルダーを壁面にねじで取り付ける  
③人体センサー裏面の溝を合わせて上から差し込む  
④人体センサーが取り外せることを確認する (電池交換が必要なため)

〈人体センサーホルダーの取り付け方例〉

A. ねじ止めできる壁材	B. ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材 (タイル)
●各種合板 ●ビニールクロスなど	●タイル・石ころボード ●コンクリートなど	●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面はザラザラやデコボコがある面 (クロスなど) に取り付けるとリモコンが落ちる場合があります。
ねじ	樹脂プラグを差し込む 下穴をあける (直径 5.8mm 深さ 35mm)	両面テープ (ホルダー裏面)
●ねじ2本で壁面に取り付ける	●ねじ2本で壁面に取り付ける	●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面はザラザラやデコボコがある面 (クロスなど) に取り付けるとリモコンが落ちる場合があります。

取り付け高さ (どのパターンでも共通です。)

取り付けるのに適した範囲です。

人体センサーの検知範囲の目安です。

●ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。

床面からの高さ  
150cm  
70cm  
約20cm  
約80cmの場合

### 〈人体センサーの取り付け例〉

※扉を開けたらすぐに検知する位置に取り付けてください。

扉が内開き  
扉の位置が便器の正面にあるとき  
扉が左開きの場合  
約80cmの場合  
約40cm  
人体センサー取り付け位置

扉が右開きの場合  
人体センサー取り付け位置

扉が外開き  
扉の位置が便器の側面にあるとき  
扉が右開きの場合  
人体センサー取り付け位置  
人体センサー取り付け位置

扉が左開きの場合  
人体センサー取り付け位置

扉が右開きの場合  
人体センサー取り付け位置

扉が左開きの場合  
人体センサー取り付け位置

扉が右開きの場合  
人体センサー取り付け位置

●注意 次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- 直射日光のあたる場所 (カーテンや窓の外の本木の揺れで、直射日光がさざざられるとき、誤作動しやすくなります)
- 暖房便座や部屋暖房による熱の影響を受けやすい場所 (右図の黒い部分)

〈人体センサーの試運転〉人体センサーが正しく作動するか確認してください。

●DL-GZ70/50/40の場合 (便ふたの自動開閉機能付き)  
①便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る。  
②3分以上経過後、入室し、便ふたが開くと同時に、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。(ただし、室温が約30℃以上の場合はすぐに点灯します)

●DL-GZ30E4/20の場合 (便ふたの自動開閉機能なし)  
①一旦、トイレから外に出る。(便座の熱を取るため)  
②3分以上経過後、入室し、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。(ただし、室温が約30℃以上の場合はすぐに点灯します)

## 13 試運転

試運転の前に…  
水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。  
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)  
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

### 手順

- リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる
- 本体梱包用のビニール袋などはさむ (便座と便器の間)
- 電源プラグを差し込む (本体の電源ランプが約10秒間点滅後点灯)
- 電源プラグを差し直す (電源が「入」の状態 (本体の電源ランプが約10秒間点滅後点灯・漏電ランプ消灯) ●便座あたためランプが点滅して点灯に変わります。 (DL-GZ70/50のみ) ●人体センサーが人を検知して、脱臭が始まります。 (DL-GZ70/50/40のみ) ●人体センサーが人を検知して、アークコートが始まります。
- 漏電テストスイッチを押す (漏電検知機能が作動し、電源が切れます (漏電ランプ点灯、電源ランプ消灯))
- 着座センサーに手をかざす (DL-GZ40/30E4/20のみ) ●着座センサーが作動し脱臭が始まります。
- そのまま手をかざしながら、リモコンの「ぬる」または「ぬる」を押す (温水が出ることを確認する (温水が出ない場合は、リモコンの温水温度調節スイッチを切り換えてください)) ●止めるときは「ぬる」を押す。 ●手をかざさずに本体のおしりスイッチを押した場合、洗浄ノズルがお手入れ状態になり水が下に流れます。

⑧ 取扱説明書に従って、各機能の確認をする

## 14 こんなときは

現象	考えられる原因と処置方法
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道の元栓が全開になっていない → 水道の元栓を全開にする ④-① 止水栓が開になっていない → 止水栓を開にする ⑩ 水道水フィルターがつまっている → 掃除する 取扱説明書 ロータックに水が給水中 → 水が貯まるのを待つ --
ロータックの水が入らない、止まらない	ロータック内の浮子がゆがんでいる → 浮子がゆがまないように袋ネットを締め付け直す ⑥
手洗い管から水はねする	水圧が高く給水量が多い → 止水栓を適量に絞る ⑩
接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 → Oリングのゴミを取り除く ⑧ ネットの締め付け力が不足 → 増し締めする -- 網の締めによるシールパッキンなどのずれ → ずれをなくす ⑥-e
電源が入らない	クリップがはみ込み不足、ずれ → 確実にはめ込む ⑧ 漏電検知機能が作動 (本体の漏電ランプが点灯) → 電源プラグを差し直す ⑬-⑤
便座暖房入と8時間切ランプが同時に点滅する	●止水栓が開になっていない → 止水栓を開にする ⑩ ●人体センサーが人を検知して、電源プラグをコンセントに差し込んだ → 電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う ⑬
人体センサーが検知しない	人がいても体の動きがない → 体を動かしてください ⑫
天井までの仕切りがないトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する	取扱説明書「保証とアフターサービス」の修理ご相談窓口にご連絡ください

工事後の注意 凍結するおそれのある場合や長期間 (1週間以上) 使用しない場合は、水抜きをしてください (取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照)